

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【公開番号】特開2001-167532(P2001-167532A)

【公開日】平成13年6月22日(2001.6.22)

【出願番号】特願平11-348233

【国際特許分類】

**G 1 1 B 20/14 (2006.01)**

**H 0 3 K 5/26 (2006.01)**

**H 0 3 L 7/06 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 20/14 3 5 1 A

H 0 3 K 5/26 F

H 0 3 L 7/06 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

上述の最大間隔検出回路4内の初段～最終段のフリップフロップ回路4<sub>27</sub>～4<sub>20</sub>は、最大リセット信号が出力されて各自の保持値がリセットされる直前にその保持値を、一斉に最小間隔検出回路5内の論理回路5<sub>17</sub>～5<sub>10</sub>にそれぞれ出力する。